

1月18日 小山町高校生議会

雪がちらつく中、小山高校生16名が議長・議員となり若い視点からの鋭い一般質問をしました。



12月定例会

令和元年度 各会計補正予算を可決・・・ 2

一般会計補正予算は165億円に

- ・10人が代表・一般質問 町政のここを問う…………… 6
- ・議会報告会を開催しました…………… 16
- ・高校生議会を開催しました…………… 17
- ・北郷地区から「わたしの金太郎」…………… 18

12月定例会

令和元年第5回12月定例会が11月29日から12月13日までの15日間の会期で開かれました。

12月定例会では、条例の制定2件、一部改正9件、町道路線の廃止・認定各1件、専決処分承認2件、土地の取得3件、一般会計のほか、各特別会計補正予算10件などの32議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

令和元年度各会計補正予算を可決。一般会計予算補正は165億円に

一般会計補正予算 (第6号)

一般会計補正予算(第6号)は歳入・歳出それぞれに3億3296万2000円が追加されました。

を見込むもの。

農林水産業費分担金

1547万円減額

畑地帯総合整備事業の今年度の事業費に合わせ、受益者からの分担金を減額。

財源として繰入れるもの。

農林水産業債

1390万円減額

県営事業負担金に合わせて減額。

歳入の主なもの

地域公共交通活性化事業費

3533万円増額

コミュニティバスに係る自主運行バス負担金を決算見込みに合わせて2840万円増額するものと、駿河小山駅の駅舎トイレ改修に対する負担金500万円の計上が主なもの。

東京オリンピック・パラリンピック推進事業費

1125万円増額

道の駅すばしりでのコミュニティライブサイト運営業務275万円と、町内を大会色に彩る装飾を行うシテイドレッシング用バナ1等作成業務800万円が主なもの。

自立支援給付費

2652万円増額

利用者の増加と受給者のサービス利用量の増加に伴い、障害介護給付費を増加するものが主なもの。

こども園整備事業費

2億6616万円増額

(仮称)すがぬまこども園整備の造成工事費40

00万円と、(仮称)すがぬまこども園とすばしりこども園整備のための用地購入費、合計2億2558万円が主なもの。

経営体育成基盤整備事業費

3094万円減額

県営畑地帯総合整備事業費の確定から負担金を減額するもの。

小学校管理運営費

6895万円減額

教育用ICT環境整備の無線LAN整備と、教育用ICT備品の事業費確定による減額が主なもの。

中学校管理運営費

1360万円減額

教育用ICT環境整備に伴う備品購入費の確定による減額が主なもの。

災害復旧費用として11億を追加

一般会計補正予算 (第4・7号)

一般会計補正予算(第4号)は歳入歳出それぞれに3億円を追加し、10月15日に専決処分された後、議会初日に承認されました。



湯船排水路災害現場

12月定例会最終日に一般会計補正予算(第7号)が追加提出され、歳入・歳出それぞれに8億193万7000円を追加し、予算総額は165億3071万円になりました。

歳入の主なもの

町民税個人

2600万円増額

譲渡所得の増加によるもの。

固定資産税

1億2100万円増額

前年の設備投資の増大による償却資産分の増額

民生費国庫負担金

1431万円増額

障害介護給付費の増加が見込まれることから、障害者自立支援給付費負担金を1325万円増額するのが主なもの。

教育振興基金繰入金

1億8026万円増額

こども園整備の事業費の



(仮称)すがぬまこども園建設地



自転車ロード競技の開催日程を知らせる大型サイン(役場)

後期高齢者医療特別会計
補正予算(第2号)

後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)は歳入・歳出に588万9000円を追加し、予算総額は2億2882万1000円になりました。

歳入

普通徴収保険料

580万円増額
決算見込に合わせて増額。

歳出

後期高齢者医療広域連合
納付金
580万円増額

普通徴収保険料を広域連合に納付するための増額。

土地取得特別会計
補正予算(第2号)

土地取得特別会計補正予算(第2号)は歳入・歳出に1億9368万4000円を追加し、予算総額は7億9389万円になりました。

歳入・歳出

1億9368万円増額

(仮称)すがぬまこども園用地として、土地開発基金で先行取得した土地を一般会計に売却うもので、不動産売却収入として一般会計から受け入れ、同額を土地開発基金へ繰出金として支出。

第4次小山町総合計画
(後期基本計画)の
計画期間延長

当初、本年度中に次期計画である第5次小山町総合計画の策定を完了し、2020年4月からスタートする予定でした。

しかし、タイトな策定スケジュールを組み、スピード感を重視するのではなく、所信表明の、「町民が主役のまちづくり」

第4次
小山町総合計画
後期基本計画

2016 ~ 2019



2016 ~ 2020

を実現するために、町民の意見をしっかりと聞き、施策に反映するために、現行の総合計画の期間を1年間延長するもの。

小山町会計年度
任用職員の給与及び
費用弁償に関する条例

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律に基づき、会計年度任用職員の制度が令和2年4月1日から施行されることに伴い、新たに制定するもの。

小山町部等設置条例の
一部を改正する条例

本条例は平成17年度から部制を導入し、事務分掌を定めています。令和2年4月1日からの組織・機構の見直しに当たり、防災、危機管理

及び災害対応の統括を行う危機管理局を設置。また、小山町内陸のフロンティア推進区域における三来拠点事業の進展に伴い、経済建設部と未来創造部を整理し、経済産業部と都市基盤部に再編を行うための一部改正。

新設

危機管理局

再編

経済建設部
未来創造部

経済産業部

都市基盤部

小山町生涯学習施設の
指定管理者の指定

小山町総合文化会館・小山町立図書館・小山町体育施設・小山町パークゴルフ場の指定管理者について、前回に引き続き『ビル保養・シンコー・よしもと運営グループ』に指定することを提案。

下記の討論の後、採決の結果、賛成多数で可決となりました。



新たに追加される小山町パークゴルフ場(吉久保)

討論

反対

室伏 辰彦 議員

次期選定管理者として選定方法が非公募により、現管理者が継続となっております。

公募を行わない合理的理由があると町長が認めた時の理由として5項目(①利用者の増加②利用料等収入の増加③指定管理者の良好な経理状況④サービス、利便の向上⑤他施設での非公募事例)が挙げられました。その内4項目(①・②・③・⑤)に疑問が残ります。また、指定管理料が現在年間1億3000万円ですが、次期5年間で人件費を含めて1億2900万円の管理料の増加は納得できる数字ではありません。

常任委員会

報告

総務建設委員会

委員長 池谷 弘

総務建設委員会では、付託された10議案についての審議を12月5日に行い、いずれも原案のとおり可決すべきものとしました。主な内容は次のとおり。

第4次小山町総合計画（後期基本計画）の計画期間延長について

Q 総合計画をどのような手順で計画していくのか。また、第4次の時でよいので、どのようなメニューで策定していくのか。

A 第4次のときは、総合計画策定委員会と企画委員会で作成をいたしました。策定委員会は基本的には役場職員が行います。企画委員は、町民からの公募も含めた役場の若手も入られて原案を作って話し合っています。

最終的には策定委員会で、原案を確定してそれを審議会に諮るようになります。第5次につきましても、町民アンケートと中学生アンケートは終了していますので、今後、策定委

員会と企画委員会を中心として原案作りに取り組みます。

Q 近隣自治体もまちづくりと・しごと創生総合戦略の計画期間の延長を1年考えているとの事だが、近隣の自治体はどうか。

A 御殿場市、裾野市、長泉町、清水町、富士市、富士宮市も1年延長と聞いております。

小山町部等設置条例の一部を改正する条例について

Q 今回大きく改変されるのが、経済産業部と都市基盤部だが、今までのおやまで暮らそう課の業務は、どこの課が担当するのか。

A 合併浄化槽の業務は、くらし安全課への所管替

えなど、各課に分散するものもあります。移住定住等は都市整備課へと考えています。

小山町営住宅条例の一部を改正する条例について

Q 現在でもかなり公営住宅の数が多いが今後の方針として、新しく公営住宅を建てる計画があるのか。

A 長寿命化計画を町で定めています。この計画では、新規に建設するものはありません。ただし、ご承知の通り落合のPFI方式で地域優良賃貸住宅を建設していますが、他には特に予定はありません。

一般会計補正予算（第6号）

Q 繰越明許費で足柄駅交流センター建設事業があるが、先の説明で来年の6月ごろの完成と聞いたが、その理由は。

A JR足柄駅舎の取り壊し工事は、補償によりJR東海静岡支社が行う

ことになっており、電気設備等の移設が遅れたことが原因です。交流センター1本体の建築工事は、駅舎の取り壊し後となりますので工期を6月まで延期する必要がありますが繰越明許費としました。

Q 駿河小山駅舎トイレ改修負担金が500万円あるが、どこが工事するのか。

A JR東海と協議した結果、町からの負担金でJRの指定する業者がトイレを改修します。工事の内容は、女子トイレの和便器3つを、洋便器2つに改修する工事をJRにお願いするものです。

Q 東京オリンピック・パラリンピック推進事業費の、コミュニティライブサイト、またシティドレッシング用パナーはどのようなものか。

A コミュニティライブサイトは、大きなテレビを用意して、ファンの皆様が応援したり楽しんだりするスペースで、今回すばり道の駅で、スタートからゴールまでをテレビ観戦できる計画をしています。

シティドレッシングには、統一したデザインを使用は、統一したデザインを使用

用するという条件があるので、オリンピック・パラリンピックが開催されるという機運醸成を図るための装飾を行うものです。

Q 県営畑地帯総合整備事業分担金の1547万円の減額は。

A 上野地内で県が行っており、アグリ富士小山地区の基盤整備について、事業費に対して受益者負担で1割の分担金を見えています。事業が確定したことによる減額です。



トイレの改修が行われる駿河小山駅



解体中のJR足柄駅舎を委員会で現地視察

文教厚生委員会

委員長 佐藤省三

文教厚生委員会では、付託された7議案について、12月6日に審議を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものとなりました。主な内容は次のとおり。

小山町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について

Q どれくらいの方が利用されているのか
A 実績はありません。

Q 被災された方に情報が届いていないのでは。

A 広報の全戸配布で、災害関連の支援情報を提供しています。

小山町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

Q 放課後児童支援員の研修を受けた方は何名か、人件費等どのような形で支払われているのか。また、研修の期間、内容はどのようなものか。

A 本年度は4人研修を受けました。給料等は各育成会が支払っています。研修の期間は、今年度は4日間です。内容は、放課後児童クラブに通う子供の育成支援の講義、児童期の生活と発達や、特に配慮を必要とする子供がいた場合の理解などの研修を受けます。

支給制度

台風第19号豪雨による支援制度のお知らせ
10月12日の台風第19号により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。町といたしましても、被災された皆様が一日でも早く、安心して安全な生活を取り戻すことが出来るようにと、その対策に取り組んでおります。このお知らせは、今回の台風によって被害を受けた方のための支援制度についてまとめたものです。詳細につきましては、担当課または関係機関へお問い合わせください。

支援員の資格の更新

Q 1度受講すれば、更新の必要はありません。

一般会計補正予算(第9号)

Q 小学校管理運営、中学校管理運営の無線LAN整備、教育用ICT備品の減額の理由は。

A 入札をした結果、入札差金による減額です。さらに、小学校のICT備品は、入札の結果と、当初の予算編成の時から、タブレットの台数と仕様を見直した結果により減額となりました。

すばしりこども園用地の分筆登記について

Q すばしりこども園用地の分筆登記について、どのように分筆するのか。

A 須走幼稚園の敷地の一部と北原団地の跡地を購入したく、須走83番地の1を分筆します。

すばしりこども園用地は、平成22年豪雨の際に、裏山の山腹崩壊が起

き園舎等が被災しましたが、その上流はトンパツクがかなり積んであり、こども園を新規に造るに当たり、どう考えている

国の直轄による山地の崩壊防止事業を実施中で、山地強靱の中で抑えられると考えています。

平成22年の土砂流入は、中学校にある調整池が飲みきれなくなり、床上浸水になったと考えています。調整池の管理をしていけば幼稚園に土砂の流入が起これないと考えています。

御殿場市救急医療センター負担金が減額だが、その内容は。

A 救急医療センターの前年度決算に基づく歳入の増と、今年度の人件費の増額を合わせ、御殿場市と小山町で負担割合により金額を計算した結果です。

昨年度の救急医療センターにかかった人は全体で何人か。そのうち小山町の方は何人か。

A 全体で16、633名の方が利用され、小山町の方が2、433人です。

女性消防団員研修等負担金が減額となつて理由は。

A 参加する女性の人数が減ったことによるものです。



追加されるパークゴルフ場を委員会で視察

小山町生涯学習施設の指定管理者の指定について

Q 今回増額した主な理由は。

A まず、パークゴルフ場を指定管理に加えること、次に自主文化事業の事業費の増額、さらに、図書館事業において図書購入と平日の開館時間を2時間延ばし午後8時までとしたことです。

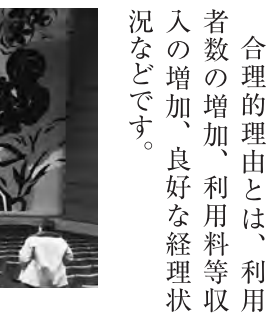
また、会館の管理運営に係る修繕費についても、老朽化が進み増額して

追加されるパークゴルフ場を委員会で視察

公募であるべきところが随意契約になつてい

Q 現在の指定管理者による施設の管理運営状況が良好であるため非公募とする合理的な理由に当たるとして進めました。

合理的理由とは、利用者数の増加、利用料等収入の増加、良好な経理状況などです。



文化会館の金太郎ホールを委員会で視察

代表・一般質問に10人が登壇

町政のここを問う



鈴木 豊
(新生会)

第4次小山町総合計画 後期基本計画

2016~2020

～富士をのぞむ 活気あふれる 交流のまち おやま～



富士山頂と金太郎のまち おやま

【2019年12月 改訂版】
静岡県 小山町

代表質問 (新生会)

第4次小山町総合計画の計画期間を2020まで期間延長

Q 第5次小山町総合計画における町長の政治方針は A 町民の声に耳を傾け、望まれる町政運営にあたります

Q 総合計画は、自治体のすべての計画の基本となる最上位計画であり、10年間の地域づくりの方針を示す基本構想を受け、5年間の行政計画を示す基本計画、3年間の具体的施策を示す実施計画の3つを合わせた計画となっている。

A 具体的な任務を持っており、友人という理由をもって、採用することはあり得ず、コンプライアンスに違反するとは考えていません。

Q 第4次総合計画の後期基本計画の町政の根幹に関わる部分は継承するのか。

A また、百年の計構想を引継ぐのか見直しをするのか。

Q 総合計画ディレクターの任期付短時間勤務職員の採用に友人を選任するのはコンプライアンスに疑問があり、役場のOBにも優秀な方がいるが、採用人事の経過と選定理由は。

A 総合計画には、町政の根幹にかかわるもの、過去数年、そして今後数年にわたって取り組むべき施策等が数多く含まれています。

A 町長

採用にあたっては、専門的な知識経験があり、優れた識見を持っている方を選考し採用しました。総合計画ディレクターの職務は、総合計画の政策・施策の取りまとめ等、

よって、第4次から第5次に切り替わったからといって、その内容の全てを変えたいという事はないと考えます。事業の継続性や持続性が求められるものについては、継承して参ります。

Q 町長は、これからの

小山町をどうしていきたいのか、思いや考えをお聞きする。

A 町長 行政主体で物事を進めるのではなく、常に町民の声に耳を傾け、真に町民に望まれる町政運営に努めます。

町民の皆様がこの町を愛し、この町に誇りを持っていることに幸せを感じるまち、未来を担う子ども達が、夢と希望を持てるようなまちづくりを進めさせていただきます。

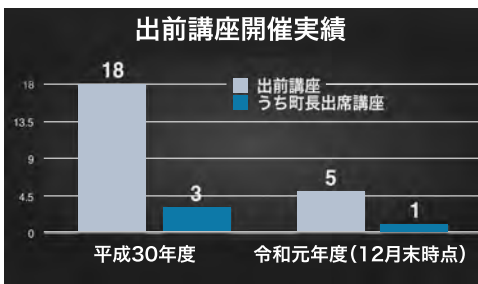
Q 第5次総合計画の策定を目指すものや方針は何か。

A 町長 町民が幸せになるため、町民のための総合計画を、町民と共に作っていきま

す。

A 町長

Q 総合計画審議会委員のメンバーは、関係行政機関の職員、



令和元年度の町長1回は、4月に開催したものです。

町民の皆様と直接対話をする機会も設ける予定

Q 町長は、町民の声に耳を傾け意見を反映すると申されますが、町長は、現在まで各地域へ出向き町づくりの話をお聞いているのか。

A 町長



高畑 博行



土砂流出で被害を受けた平成の杜(建物後ろ側)

Q 台風19号の被害と今後の対応は A 多大な被害がありました。が的確な対応をします

台風19号の被害は甚大であった。本町は過去にも何度か大規模な災害にあっている。そこで、今回の台風被害を改めて検証すると同時に、今後の対応について質問する。

Q 今回の台風被害の特徴、対応した内容、国や県へ行った要請等を聞く。

A 町長
土砂の流出による被害が多く、速やかな応急対応

応にありました。警察、自衛隊の出動要請、県には技術職員の派遣要請等を行いました。

Q 小さな用水路でも大量の土壌流出があったが、その点での町の分析や認識はどうか。

A 農林課長
町の地形、土壌の特徴に加え長時間の強い雨で土砂が流出したと分析しています。住民の方々と

ともに対策を講じていきます。

Q 実際の被害箇所と土砂災害ハザードマップが一致していない。マップの見直しは。

A 防災課長
来年度作成するハザードマップには反映できませんが、次の土砂災害警戒区域の追加指定に活かすよう県に働きかけます。

Q このような災害が起った時の復旧対応の優先順位は。

A 防災課長
人命や身体に及ぼす危険性の有無、公共性、現場の状況等加味して判断します。

Q 小山消防署と須走分署の建て替えの展望は A 関係機関と連携し庁舎の建て替えを進めます

小山消防署と須走分署の老朽化を考えると建て替え問題は大きな課題だ。町は早急に移転候補地を決定し、建て替えの展望を示すべき。そこで質問する。

Q まずは建て替えの用地確保から急いで進めなくてはならないが、町長の考えを伺う。

A 町長
必要面積のほか、スマー

トICの設置により管轄区域が広がることから、現在地での建て替えは困難です。広域行政組合と連携しながら迅速に進めていきます。

Q 6回開催されてきた「あり方検討会」での進捗状況は。また具体的候補地はどうか。

A 危機管理監
各地区への出動件数や現場への所要時間の分析

等行いました。現在は、建て替えの候補地等を調査・検討しています。

Q 新たな消防署は施設・設備面で大幅に拡充させる必要があるが、町の考えは。

A 危機管理監
消防車両の配置等を考慮し、敷地面積を増やします。勤務環境の改善、女性署員の配置など考慮し、設備も充実させる必要

要があります。

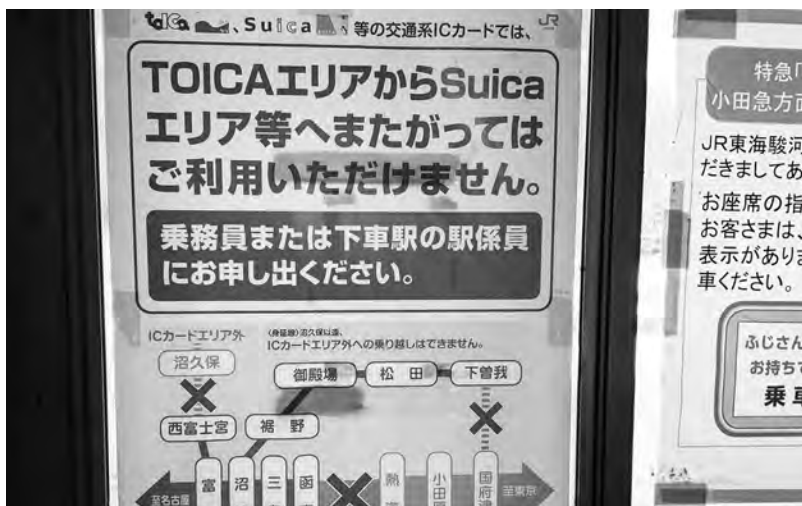
Q 消防署と防災施設の一体化の発想はないのか。

A 危機管理監
防災施設の併設には、長所、短所があります。設置場所を選定する際に必要な要素です。

一般質問
(一括)



池谷 弘
(会派 令明)



駿河小山駅のポスター

Q エリアをまたいでSuica・PASMOカードの利用 A 実現に向けての要望活動を行っています

関東地区の交通機関ではSuica・PASMOが利用されている。JR東海では、ICカードTOICAエリアで御殿場線でも本年下曽我・足柄駅間もICカードが導入されている。しかし現在異なるICカードのエリアをまたいでの利用はできず、首都圏からの小山町への来町者は、Suicaで乗車した場合降車時に乗り越し精算をする必要があり町内の駅は無人駅のため、大変難儀している。

2020年は東京オリンピック・パラリンピックの自転車ロードレースがあり、また多くの人が参加する米・食味分析鑑定コンクール国際大会が開催され小山町が全国から注目される。

この様な中で足柄駅改築も進められており、町でもJRによる首都圏からの来町者を迎えるように努力しており、多くの来町者が予想される。異なるICカードのエリア

をまたいでの利用については、静岡新聞の社説に取上げられ、御殿場線活用推進協議会等でも御殿場線活用が進められている。

首都圏から多くの利用客が期待できるエリアをまたいでのカード利用について伺う。

Q 現在の進捗状況は。
A 町長 本年3月、JR御殿場線の下曽我駅〜足柄駅間でICカードの利用が可能となりました。

しかし、JR御殿場線でのICカード利用が実現しても、JR東日本とJR東海の接続駅「国府津駅」での乗り換え時におけるICカードの精算、いわゆる『またぎ利用』が得意でないという実情は、小山町のみならずJR御殿場線沿線市町共通の大きな課題となっています。

よって、毎年「御殿場線活用推進協議会」をはじめ各種団体において、国や静岡県、鉄道事業者各社へ要望活動をしておりますが、鉄道事業者からこの要望に対する前向きな回答は得られていないのが現状です。

Q JRが実現できない課題は何か。
A 町長 本年度、御殿場線活用推進協議会で、「交通系ICカードの各鉄道事業者のエリアをまたがる利用の実現について」要望した回答では、日本全国に係るシステムであることから、技術的な課題が大きい。

JR他社と連携して勉強をしているところ。

2020東京オリンピックがあることで、その時には今より不便をかける形での対応できるような検討を進めている。と回答をいただいております。

Q 今後の町の行動計画は。
A 町長 引き続きJR御殿場線沿線市町や国会議員、県議会議員等と連携をし、早期実現に向けて要望を行い、また、町としても機会あるたびに実現に向けての交渉を行ってまいります。



足柄駅の簡易型自動改札機

一般質問
(一括)



岩田 治和



神社の境内地にある菅沼・坂下公民館

Q コミセン設置推進が必要と思うが
A コミセン設置の推進を検討します

コミュニティセンター(以下「コミセン」と略す)は町民の学習、文化、スポーツ活動ならびに自治会、福祉、環境、安全の確保など地域の総合的な活動拠点とし、重要な施設として設置されている。

現在、町立のコミセンとしては町内に8か所が設置されており、それぞれ地域に根ざして大変重要な施設となっている。またコミセンの管理運営はそれぞれの地区に依頼している状況にある。

近年、台風や大雨等で、身近な場所の避難所としてコミセンの必要性が求められている。台風19号の上陸により10月12日、13日両日に避難された方々は、9か所の避難所で894人の数にのぼっている。

町内の学校区別にみたコミセンの設置状況を見ると、急傾斜地が多く災害の危険性の高い明倫地区にはコミセンの設置は皆無であり、同様に成美

地区も比較的少ないのが現状である。

また、各地区に公民館が設置されているが、多くは地域の神社の社務所などとして設置されたもので、避難所として機能するコミセンの存在ではない。さらに、多くの公民館は建設後40〜50年が経過した木造平屋建が主であり老朽化が目立つのが現状である。

Q コミセン未設置地区の住民は身近な場所に設置を望む声が多く、近年の災害時の避難場所としても早急に設置推進が必要と考えるが所見を伺う。

A 町長 各区の集会所、公民館、コミュニティセンター等のコミュニティ供用施設は、コミュニティ活動や自主防災の拠点として、重要な役割を果たしている施設です。

しかし、各区のコミセン施設の設置状況は、区が自ら設置した施設や町

が公の施設として設置した施設が所在する地区と、一方、コミセン施設の無い区もあるなど、地区により差が生じていて、今後はその状況を整理することが課題であると考えています。

コミセン施設は、大きく分けて2種類あり、対象人口が1千400人までのコミセンの場合は、基本的には各区が設置するものと考えています。

これまでも各区のコミセンについては、各区の財源により設置していただいています。

一方、対象人口が1千401人から5千人までの場合は、公の施設として町が設置するものであると考える、これまでに足柄、北郷、須走の3か所に地区コミセンを設置しています。

地区コミセンのない成美地区については、健康福祉会館を地区コミセンの代りとして使用していますが、明倫地区にはそ

のような施設がなく必要である事は十分理解しています。

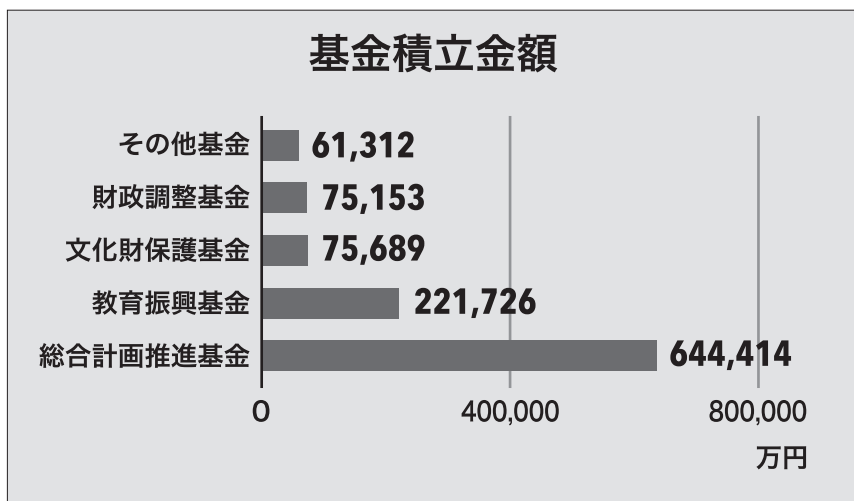
地域コミュニティ施設として重要な役割を果たすものでありますので、今後検討しなければならぬことだと考えています。



公の施設として町が設置している北郷(左)・足柄(右)コミセン



遠藤 豪
(新生会)



平成30年度決算時の各基金積立金額

池谷町政の目指すところは

A 町民が主役のまち・住民幸福度日本一のまちを目指します

先日町長は、後期基本計画の1年延長を発表し、さらに第5次町総合計画の策定を町民の声を聞くとのことから1年間の延長をきめました。結果任期4年間の内、2年間で計画作りに費やすことになり。そこで質問します。

Q 池谷町政の目指すも

A 町長

のとは、具体的にどのような事か。

A 町長

この町に住んでいる町民の事を最優先に考え、施策を推進していくことが最重要であると考えます。

A 町長

現状に即した体制の構築を図り、組織名称を町民にわかりやすいものに変更します。

生まれ故郷である、小山町をどのような町にしたいのか。

Q 本12月議会に提案されている小山町部等設置の必要性と基本的な人事

限られた職員数の中、適正な人員配置と適材適所な人材配置、将来を見据えた人材育成が可能となるよう努力します。

積立金の今後の用途について

A 各種プロジェクトを推進します

昨年度のふるさと納税を含む寄附金は252億6千7百万円余で、30年度の歳入の68・9%に達し、ふるさと納税の実質収入は103億7千万円余となりました。

Q 各種基金の内、金額の大きい4つの基金について、今年取崩した金額とその使い道は。

Q 文化財保護基金や教育振興基金は、他の事業への振り分けは可能か。

A 町長

はるか。町民の方々に對して役立つプロジェクト、更には、町外の方にもこの町に魅力を感じていただけるような各種プロジェクトを推進していきます。

これが各種基金の基となり、前年度より4倍の107億8千万円余が積立られました。そこで質問します。

Q 積立金を利用した、プロジェクトなどの考え

4つの基金総額で31億8千872万円を取崩し、災害復旧費をはじめ、ふるさと振興事業、オリンピック・パラリンピック対策、給食の無償化等に使います。

条例で定められている用途以外の処分はできないことから、規定されている事業以外への振り分けは出来ません。

8千872万円を取崩し、災害復旧費をはじめ、ふるさと振興事業、オリンピック・パラリンピック対策、給食の無償化等に使います。

Q 積立金を利用した、プロジェクトなどの考え

条例で定められている用途以外の処分はできないことから、規定されている事業以外への振り分けは出来ません。

一般質問
(一括)



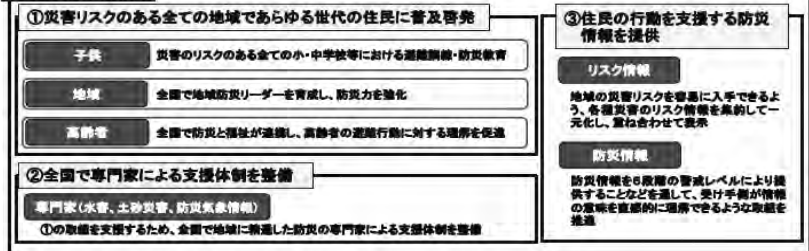
室伏 勉

避難に対する基本姿勢

現状
 ✓ 行政は防災対策の充実に不断の努力を続けていくが、地球温暖化に伴う気象状況の激化や行政職員が限られていること等により、突発的に発生する激甚な災害への行政主導のハード対策・ソフト対策に限界
 ✓ 防災対策を今後も維持・向上するため、国民全体で共通理解のもと、住民主体の防災対策に転換していく必要

目指す社会
住民「自らの命は自らが守る」意識を持つ
 ✓ 平時より災害リスクや避難行動等について把握する。
 ✓ 地域の防災リーダーのもと、避難計画の作成や避難訓練等を行い地域の防災力を高める。
 ✓ 災害時には自らの判断で適切に避難行動をとる。
行政 住民が適切な避難行動をとれるよう全力で支援する
 ✓ 平時より、災害リスクのある全ての地域で、あらゆる世代の住民を対象に、継続的に防災教育、避難訓練などを実施し、「自らの命は自らが守る」意識の徹底や地域の災害リスクととるべき避難行動等の周知をする。
 ✓ 災害時には、避難行動が容易にとれるよう、防災情報をわかりやすく提供する。

実現のための戦略



平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について
(資料:内閣府防災情報のページより)

Q 台風など大雨強風に備えた避難対策について
A 避難情報の提供、必需品の持ち出しの啓発に努めます

今般の台風19号は、幸いにして人的被害はなかったものの町内各地に大きな被害をもたらしました。

この台風では多くの方々が避難をされましたが、県道の渋滞による避難所までの交通事情、避難所でのテレビ、ホワイ

トボード等による台風、町内被害の情報の提供、そして避難所での集団生活のルール等の周知など、

台風は事前情報により準備が可能であるにもかかわらず、避難対策において多くの問題点が散見されております。

自主防災会の専任会長の擁立を今後もお願いするとともに、財政面では防災資機材等を購入するための補助金制度がありますので、町として引き続き周知推進に努めていきます。

河川、道路等の状況を、成美、明倫、足柄地区に大きな加入率を持つ小山町テレビ共聴組合のケーブルテレビ網利用による、各家庭、避難所への映像の配信について。

避難所周辺の崖の崩落、雨漏りなど、各避難所及び避難経路の安全対策について。

避難所周辺の崖の崩落や避難所の雨漏りなどは対策を講じ安全確保に努めていきます。

また、避難経路や、橋などに危険がおよぶ前の早めの避難を心掛けるよう呼びかけていきます。

については、日頃からの確認と出前講座や各種訓練の機会においてハザードマップでの確認や啓発に努めていきます。

また、避難経路や、橋などに危険がおよぶ前の早めの避難を心掛けるよう呼びかけていきます。

また、避難経路や、橋などに危険がおよぶ前の早めの避難を心掛けるよう呼びかけていきます。

また、避難経路や、橋などに危険がおよぶ前の早めの避難を心掛けるよう呼びかけていきます。

また、避難経路や、橋などに危険がおよぶ前の早めの避難を心掛けるよう呼びかけていきます。

策定し、避難所の運営について周知をしております。町の災害対策本部からは避難所支援班として職員を配置し、各避難所の支援にあたることをしています。

福祉避難所の開設要請は、このたびの台風では、避難者の中に福祉避難所への避難を必要とする方が居なかつたため要請しませんでした。

自主防災会の専任会長の擁立を今後もお願いするとともに、財政面では防災資機材等を購入するための補助金制度がありますので、町として引き続き周知推進に努めていきます。

河川、道路等の状況を、成美、明倫、足柄地区に大きな加入率を持つ小山町テレビ共聴組合のケーブルテレビ網利用による、各家庭、避難所への映像の配信について。

避難所周辺の崖の崩落、雨漏りなど、各避難所及び避難経路の安全対策について。

避難所周辺の崖の崩落や避難所の雨漏りなどは対策を講じ安全確保に努めていきます。

また、避難経路や、橋などに危険がおよぶ前の早めの避難を心掛けるよう呼びかけていきます。

については、日頃からの確認と出前講座や各種訓練の機会においてハザードマップでの確認や啓発に努めていきます。

また、避難経路や、橋などに危険がおよぶ前の早めの避難を心掛けるよう呼びかけていきます。

また、避難経路や、橋などに危険がおよぶ前の早めの避難を心掛けるよう呼びかけていきます。

また、避難経路や、橋などに危険がおよぶ前の早めの避難を心掛けるよう呼びかけていきます。

また、避難経路や、橋などに危険がおよぶ前の早めの避難を心掛けるよう呼びかけていきます。

また、避難経路や、橋などに危険がおよぶ前の早めの避難を心掛けるよう呼びかけていきます。

また、避難経路や、橋などに危険がおよぶ前の早めの避難を心掛けるよう呼びかけていきます。

また、避難経路や、橋などに危険がおよぶ前の早めの避難を心掛けるよう呼びかけていきます。

また、避難経路や、橋などに危険がおよぶ前の早めの避難を心掛けるよう呼びかけていきます。

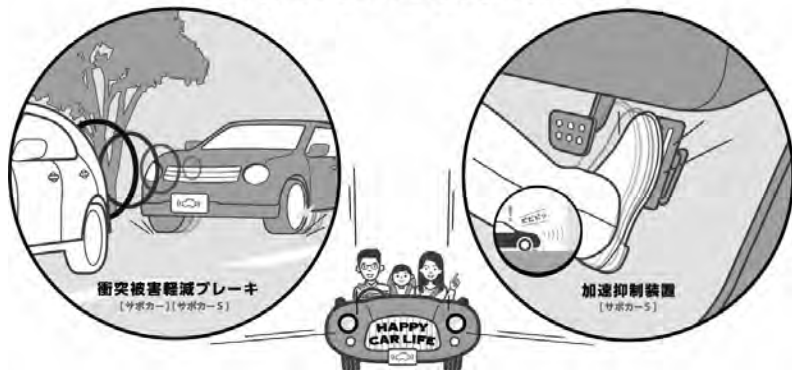


ライブカメラで河川状況の映像配信



佐藤 省三
(会派 令明)

サポカー/サポカー-S
で未来はもっと明るくなる。



安全運転サポート車のWEBサイトより
(資料: 経済産業省ホームページ)

Q 高齢者の交通事故対策について

A 後付の安全運転支援装置設置費補助制度を創設します

昨今、高齢者の運転ミス等による重大な事故が全国で増加している。事故の原因は、加齢による身体活動の衰えや運転操作ミス、とりわけブレーキとアクセルの踏み違いによる急発進や急加速などによるものと思われる。高齢でも運転が可能な方には、転ばぬ先の杖として自動ブレーキシステム

や急加速発進防止装置などの安全装置に対し、町でも補助制度を進めるべきと考えるがどうか。

9月議会で町は調査研究を進めるとのことでしたが、どこまで進んでいるか。補助への道筋が

つきそうなのか伺う。

町長

国では、自動ブレーキ搭載の自動車の普及に向け、高齢者を対象にしたサポカー等購入の補助制度について検討しています。県内35市町で導入している自治体はありませんが、8市1町が導入の検討を始めました。

本町では、高齢運転者の事故防止対策として、急発進、急加速を抑制する後付の安全運転支援装置搭載した自動車

Q 平成31年度全国学力学習状況調査の結果について

A 中学校ではすべての分野で全国平均を大きく上回りました

今年度の全国学力学習状況調査の結果について伺う。これまで基礎と応用を分けて調査していたが、今年度はまとめてひとつの問題とし、中学校では英語科が加わった。これらを踏まえて伺う。

今年度の全国学力学習状況調査の結果について伺う。これまで基礎と応用を分けて調査していたが、今年度はまとめてひとつの問題とし、中学校では英語科が加わった。これらを踏まえて伺う。

平均を大幅に上回る結果でした。「夢チャレンジ事業」も、生徒の英語に対する意欲の向上につながっています。

町内の各小中学校の成績と、その原因は。

英語科の結果は。

課題克服の方策は。

教育長

教育長

教育長

算数・数学では、課題を解決するとき、筋道立てて考え、説明することができ力を付けます。

英語では、聞く・読む・話す・書くの4領域の関連を図り、思考力・判断力・表現力の育成をさらに意識した授業づくりを行います。

一般質問 (一括)



室伏 辰彦
(会派 令明)



駿河小山駅前通り県道沿いの歩道

Q 町内歩道環境の改善 A 安全安心に繋がる施設整備に取り組んでいきます

現在町内歩道の老朽化が進み、歩道の凹凸や歩道と車道の境界部の段差が目立ち非常に歩きにくい状態です。

ベビーカーが歩道の凹凸で引っかかりスムーズに進めず、仕方なく車道で押ししており、非常に危険な状態であります。

また、高齢者に対しバリアフリー化が見受けられません。

転倒する恐れもありません。

特に駿河小山駅前通りや役場から菅沼に抜ける県道沿いがひどいと感じています。そこで2点伺います。

Q 県道ですが、今まで地域の区民要望があったと思いますが、具体的な対応がされていません。

町としてどのように受け止めているのか。

至急に改善が必要と考えられますが今後どのよ

うに進めるのか伺います。

A 町長

県道に関する地区要望については、例年取りまとめのうえ沼津土木事務所へ進達しています。

今年度に地区からの要望で挙げられた県道駿河小山停車場線と県道沼津小山線の歩道に係る案件は合計で7件ありました。

その内の2件は危険性の高い状況であると判断され、既に沼津土木事務所に対応していただき補修が完了しています。

また、残りの5件については、そのままの状態でおくと今後重大な事故に繋がる恐れがあると町も考えていますので、改めて早期の改善に向けて要望を行っていきます。

Q 産んで良し・育てて良しの町づくりを進めると、町長は所信表明で述べられていますが、この

ような具体的な環境改善も重要ではないか伺います。

A 町長

産んで良し・育てて良しの町づくりを進めるためには、ベビーカーや車椅子を利用される方等に配慮した段差の解消や通学路となる箇所での歩道整備など、安全安心に繋がる施設整備も必要であると考えます。

町が実施する道路整備

事業においても、昨年度に役場前から豊門公園まで続く町道1065号線道路改良工事が完了し、小中学校の生徒達が多く利用する歩道を整備しました。

今後進める事業の中でも町道大胡田用沢線などの道路改良工事や道路修繕を実施する際には、歩行者を含め交通の安全が保てるよう計画的に取り組んでいきます。



歩道を整備した町道1065号線(役場前から豊門公園)



小林 千江子



入所人員が一番多い北郷小放課後児童クラブ

Q 小山町保育園・幼稚園・こども園について A 計画的に園舎を整備していきます

全ての園のこども園化、そして各小学校区に各こども園設置を計画されていますが、それらの考察ならびに今後の対策に関して伺う。

A 教育長

本町では、子ども子育て支援の充実を図るために、こども園での運営を行います。園舎の整備については、次期「小山町総合計画」へ盛り込み、入園希望者の推移等を勘案しながら、計画的に整備してまいります。

クオピニオンの是非を伺う。

A こども育成課

整備計画作成や運営において、町民の皆さんからご意見をいただくことは必要であると考えています。

率、時間外労働の管理体制などについて伺う。

A こども育成課

ストレスチェックは、法に基づいて実施しています。年次有給休暇の取得率は、平均で11パーセントです。

Q 少子高齢化の人口推計、将来的ニーズをどのように考察し、全ての園のこども園化構想や中期計画を出されたのか伺う。

Q 今後のこども園建設や運営におけるパブリック

Q 幼稚園教諭・保育士

こども園職員の労働状況におけるストレスチェックや福利厚生、休暇取得

時間外労働は、必要がある場合に、園長が職員に勤務を命じています。

Q 放課後児童クラブの状況及び今後の対応について A 町としての運営方針を決めていきます

小山町の放課後児童クラブは保護者による運営が行われており、仕事を

Q これらの現状についてどのように把握されているのか伺う。

A こども育成課

平成11年に北郷小学校区で開設されて以来、各小学校区で順次開設されましたが、クラブ毎に保護者会が中心となって運営し、それぞれ事情が異なっていることから、この体制を一気に変えるこ

とは、非常に難しい状況であると考えています。

Q 手法としては様々な

が、小山町として放課後児童クラブを今後どのような方針で進めようとしているのか伺う。

A こども育成課

各クラブ毎に運営方法が異なり、同じ町内で利用に差が生じていること

や、支援員や保護者会の負担も増えてきていることから、今後、支援員や保護者会の意見、近隣自治体の運営方法を参考にしながら、運営方針等を決めていきたいと考えています。

また施設・運営において地域の格差が生じてお

一般質問
(一括)



渡辺 悦郎
(会派 令明)



令和2年4月からの日中の運行ルートイメージ図(点線区域内はデマンド交通)

Q 新公共交通システムについて
A 令和2年4月から新しいコミュニティバスを開始します

Q 町は公共交通について住民、行政、そして事業者で構成する「小山町地域公共交通会議」で検討してきた。

A 2年度から新システムが導入されると聞いた。新システムについて何う。

Q 新・旧システムの相違点、変更点について何う。

A 町長

朝夕は、授業や部活動を意識し、曜日や季節によって運行時間を変える等通学利用に合わせたルート、ダイヤを設定しております。

日中は、須走紅富台から駿河小山駅間を結ぶ路線と、須走地区以外の町内を移動できる予約型のデマンド交通を導入いたします。

Q 町民への広報について何う。

A 町長

来年3月号の広報おや

まに、新しいコミュニティバスの詳細について掲載し、時刻表やデマンド交通の利用方法を全戸配布する予定です。

併せてシニアクラブの会合やふれあいサロンなどに出向き、利用方法等についての説明を継続的に何う予定です。

来々4月の本格運行開始に向けて、皆様が混乱することなく利用できるよう周知徹底に努めます。

Q 日中時間帯におけるデマンド交通は須走地区以外を対象としている。

A 町長

須走地区は路線バスで対応すると聞くが、その経緯と今後須走地区をデマンド交通の対象とするのか何う。

A 町長

日中の運行は、高齢者の利用が多いことを想定して、各地区のシニアクラブを中心にヒアリングを行いました。

須走地区については、

予約が必要となるデマンド交通よりも、決まった時間に決まった場所を通るバスの意見が多かったため、このように設定した経緯があります。

今後、バスを運行していく中で、須走地区の皆様から、デマンド交通を望む声が多く挙がる場合には、運行方法の変更について検討させていただきます。

Q 現システムに掛かっていた委託費と新システムに掛かる費用はどのくらい増加が見込まれるのか何う。

A 町長

平成30年度の運行経費を消費税10%で換算すると約7千400万円です。

新しいコミュニティバスの運行経費は約8千700万円です。比較しますと、約1千300万円の増加となります。

増加の主な要因は、デマンド交通の導入による



10月の県外視察で訪れた長野県飯綱町のデマンド交通

車両リースやオペレーター等に係る費用によるものです。運行経費は増加しておりますが、町民の皆様からご指摘いただいている空のバスが走り続けている状態の解消につながるものと考えております。

令和元年度 議会報告会を 開催しました



11月7日に健康福祉会館で議会報告会を開催しました。

前半に議会の活動報告として、「平成30年度決算について」と「内陸フロンティア推進状況について」を報告しました。

後半の意見交換会では、委員会ごとにテーマを設けて、ワークショップ形式で参加者の方々と意見を交わし、貴重なご意見やご質問を多く頂きました。

頂いたご意見等は、今後の議会活動や町政発展の参考とさせていただきます。

今後より多くの方に参加してもらえよう開催日等についても改善してまいります。

総務建設委員会 地域公共交通の在り方について

▼自主運行バスについて

- 主な利用者は学生で、一般客は少ない。
- もっと小型のバスにすべきではないのか。
- 利用者の少ない昼間は、自主運行バスの便数を減らした方がいい。
- ほとんどが総合文化会

館を起点としているが、須走から役場などの直行便は無理か。

▼実証実験バスに関して

- オンデマンド化することには賛成。
- 利用方法の案内（パンフなど）は解りやすいものに。



総務建設委員会でのワークショップ

▼その他

- 利用者の年齢層、多い便・少ない便等の実態の開示をすべき。
- 免許返納者が安価で利用しやすいシステムにしてほしい。
- 参加者はバスを利用していない人達なので、バス利用者に参加してもらい意見を聞くべき。
- 国に特区として認めてもらい、「白タク」を認めてもらえないか。
- 需要調査をしっかりと行い対応すべきである。

○地域ごとで利用方法が違う可能性があるため、地区ごとの話し合いをもってもらいたい。

○今説明会をやって意見収集をしても、来年度予算に反映できないのではないのか。

○富士小山病院は患者さんのための無料バスを運行している。タイアップできるための工夫を。

文教厚生委員会 子育て支援について ～子ども園に期待 する～

▼子ども達に対して

- 多様な友達との交流が期待できる。
- 教育の充実が図れる。
- 遊びの中からの教育・保育が大切。

▼職員・先生に関して

- 職員・先生方の負担が過多にならないか不安。
- 幼稚園・保育園が合体され規模が大きくなると、職員の負担が増し保育・教育がおろそかにならないか不安。
- 一緒にならなくても良いのでは。
- 職員・先生の待遇の改善が必要では。

▼運営と設備に対して

- 分離型ではなく一体型の子ども園にすべき
- 自然災害に対して安心できる設備を希望。
- 子どもの安全と防犯体制の整備されている設備と仕組みが必要。
- 保護者の働くニーズに柔軟に対応できる体制づくり。

○子どもの体調不良にも対応できる設備・施設の充実。

○病児、病後児保育の充実。

○地域交流のできる体制づくり。

○シニアクラブなどとの積極的な交流。

▼その他

- 防犯カメラ、街灯など防犯設備の積極的な設置。
- かけこみ110番の家の見える化。



文教厚生委員会でのワークショップ

令和2年

小山町高校生議会を開催



高校生議会終了後に柴田議長と高校生議員を中心に参加者全員で記念撮影

一般質問の概要

- 進行 柴田日向議長
- (1) 情報発信について
(村松希海議員・井上聡議員・坂田奈穂議員)
- (2) 教育施設の改善案
(佐藤日菜子議員・鈴木正悟議員・池谷佳紀議員)
- (3) 経済発展における名産品の知名度について
(佐藤美月議員・甲斐七楓議員・村上真鈴議員)
- (4) 高齢者の過ごしやすい町について
(増田航陽議員・常盤天那議員・八木絢斗議員)
- (5) 小山町の防災の情報伝達について
(三浦ひまり議員・岩田凜議員・澤岡汐里香議員・村尾桜咲議員)

1月18日に小山高校から16名の生徒が参加して、小山町高校生議会を町当局と共同開催しました。

高校生議会は、平成28年に選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたのを機に、高校生にも町政に関心を持ってもらうことを目的に始まり、今回で4回目の開催です。

高校生議員には緊張した面持ちが残る中、柴田日向議長の進行により開会しました。

高校生議員からは、小山町の日常生活に関する課題や町の将来を見据えた提言など5問が堂々と質問され、担当部長が一問一問真剣に答弁しました。



柴田議長の進行を真剣に聞く高校生議員

た。答弁に対して再質問もされるなど、町当局と活発な議論が交わされました。

高校生の作成した質問は3人から4人1グループとなり、町の総合計画や他市町の先進事例を研究するなど、それぞれの提案の中にとめられていました。

若い視点ならではの質問は、どれも議会にとって刺激を受けるものであり、過去に提案があった足柄BBQガーデンなど実施に至った事業もあります。

これからも町の将来を担う若い世代が、町政・町議会への関心を高めてもらえるようにしたいと思います。



平成28年の提案により実現したBBQガーデン

議会終了後に先輩・議員と意見交換

高校生議会終了後、議会を振り返ってどうだったか、議員と高校生で意見交換を行いました。

また、平成28年度に高校生議会に参加し、今年度役場に採用された職員(先輩)も参加し、当時のことや、その経験がどう活かされているかなど体験談を聞くことができました。

この経験が高校生にとって、さらに町に興味を持ってもらえる機会となり、次回開催に向けての熱い思いを発表する会となりました。



先輩(職員)の話真剣に聞く高校生

わたしの金太郎

町内で小山町を金太郎のように元気な町にするため頑張っている団体・人を議員自ら訪ねてお話を伺います。



下小林で「農家民宿」のはなを運営されている杉山輝真・順子ご夫妻にお話を伺いました。

Q 農家民宿を始められたきっかけは？

農業プラスαなにか面白い事が出来たらと思い、始めました。

Q やりがいを感じる

時は？

小山町の人には当たり前前の事、例えば夜の静けさや満天の星空、おいしい空気やお水がご馳走！とお客様に喜んでもらえる時です。

Q これからの展望は？

更に土にこだわり、パワーのある野菜を提供し、お客様に自然を楽しんでもらえるプログラムを企画したい。

Q 小山町の魅力は？

なんと、とっても富士山！ 美味しいお水に空

気！ 交通の便が良く観光地に囲まれている事。

Q 町に期待することは？

素晴らしい自然を残し、文化的な魅力を充実させる事で、より魅力あふれる町になるのではと期待しています。

Q 議会に期待すること

住民の声を町政に反映しつつ、町や地域の利害だけではなく、より広い視野からの発展を期待します。

(聞き手 小林千江子)

議員研修報告

11月8日に議員12名で県内視察研修を行いました。

①静岡地方気象台を見学
気象台では、自然現象を監視しながら天気予報や台風等についての警報・注意報・その他情報を防災機関や県民に提供しています。

10月12日の台風19号の際にも注意勧告・避難指示を適切に発令し、発令と共に行動すること、自分の身は自分で守る事を学びました。

②浜岡原子力発電所
東日本大震災により、



静岡気象台で静岡県の気象特性を学ぶ

福島の原発が被災し現在もなお多くの方が避難生活強いられています。

そのことを踏まえ浜岡原発は津波対策及び緊急時対策の強化、新規制基準を追加した対策を行っています。

具体的には、防波壁・ガスタービン発電機の設置等地震対策です。

原子力発電所には絶対的な安全性が求められます。より一層の向上に努めていることを学びました。

今回の研修では、災害が起きる前の対策・システム構築の大切さを再認識しました。以前の災害から学び、今できる事を

静岡地方気象台と浜岡原子力発電所から現在の取り組みを学ぶ

実に行っていないかなければなりません。(記 室伏 辰彦)

●訂正・お詫び

前号の16ページの『わたしの金太郎』の中で、漢字の誤りがありましたので、次のとおり訂正してお詫びいたします。

興五澤経雄(誤り)

← 興五澤経雄(正)

3月定例会開催予定

3月定例会は令和2年度予算を審議する重要な議会です。

2月25日(火)開会

町長提案説明

2月26日(水)

予算補足説明

3月3日(火)

予算質疑

3月5日(木)

一般質問

3月9日(月)

総務建設委員会

3月11日(水)

文教厚生委員会

3月18日(水)閉会

委員長報告・討論・採決等

いずれも、開会時間は10時の予定です。是非、議場へお越しください。

議会・委員会を傍聴してみませんか

●本会議や常任委員会は、傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、右記の開催予定日に、小山町役場4階議場または議会事務局へお越しください。

編集後記

2019年は激動の年でした。

4月の統一地方選挙に始まり、5月に時代は平成から令和へと移り、初めての臨時議会、そして6月には早くも定例会が開催され、9月、12月の定例会と瞬く間に月日が過ぎていきました。

その間、緊張した一般質問及び決算質疑、御殿場市・小山町広域行政組合議員としての活動、見聞を広げた町内、県内、県外の各研修視察、近隣自治体議員との交流など大変有意義な経験をさせていただきました。この議会広報の編集後記を作成しながら一年が終わりました。

今年も町民、そして小山町の未来のために頑張るぞ！

(記 室伏 勉)

《編集委員》

- 委員長 渡辺 悦郎
- 副委員長 小林千江子
- 委員 室伏 勉
- 委員 室伏 辰彦
- 委員 室伏 豊造